

コラム① 他教科と の連携

学年	問題解決の質を高める	単元	よりよく価値観を広げる
1年	<u>国語</u> 「ともだちに、きいてみよう」 友達に取材し、重要なことを聞き落とさないように聞き、紹介する。そのことで、情報収集能力を付け、問題解決の質を高める。	しぜんと なかよし	<u>特別の教科 道徳</u> 「ぼくのあさがお（自然愛・動物愛護）」 身近な植物である、朝顔の成長に合わせ、自然を大切にしようとする心情を育み、自分が育てているあさがおへの愛着を深めた。 <u>図画工作</u> 「季節の折り紙」 各月ごとにその季節の行事や風物詩に関する折り紙を作り、その季節への興味が高まり、価値観が広がった。
2年	<u>国語</u> 「今週のニュース」 地域で体験した出来事や、発見したことなどをニュースにまとめ、グループの友達から感想をもらう活動を定期的に行った。書く活動を習慣化させることで「書いて伝える力」を高めた。	来て! 来て! 西田の町	<u>特別の教科 道徳</u> 「町の大きいちょうの木（郷土愛）」 「どうぶつ森のおまつり（郷土愛）」 施設や店ばかりが町の良さではなく、有名無名問わず自分にとって意味があるもの、自然、祭りや催事など形がない文化も、町の良さであることに気付き、価値観を広げた。
3年	<u>理科</u> 「こん虫を育てよう」 「動物のすみかを調べよう」 生命の多様性と共通性について、たくさんの生き物とのかかわりの中で体験的に学んだ。	しぜんと ともに くらそう (環境)	<u>社会</u> 「農家の仕事」 私たちの命を支える食料を生産する農家の方が、季節や自然とどのような思いで関わっているか、また生き物が土づくりに果たす役割について考えを広げた。
4年	<u>図画工作</u> 「ゆめの町へようこそ」 総合で、町には自分だけではなく、家族・友達・高齢者・外国人…が生活していると学んだことを生かし、段ボールでみんなにとって住みよい夢の町を考え作成した。	みんなに やさしい 町づくり (福祉)	<u>特別の教科 道徳</u> 「なにかお手つだいできることはありますか。（思いやりの心）」 総合の学習進度と合わせ、思いやりの心について考えるとともに、福祉についての知識を広げた。
5年	<u>国語</u> 「次への一歩―活動報告書」 環境問題の原因や影響について調べたことをもとに、事実と考えに分けて報告書にまとめ、報告し合った。	世界を 見直して 環境を 考えよう (環境)	<u>社会</u> 「わたしたちの生活と環境」 天然林や人工林の役割や、森林を守る人々の取り組みについて知り、身近な環境保全に対する考えを広げた。
6年	<u>国語</u> 「今、私は、ぼくは」 世界の問題について講演していた中で、印象に残った話や世界の平和について考えたことについて、話し方を工夫し、資料を示してスピーチをした。	世界に 向けて 羽ばたこう (平和)	<u>社会</u> 「長く続いた戦争とくらし」 戦争がもたらす被害の大きさについて考え、平和に対する自分の考えを広げた。